

第12回日本語教育研究集会

日時 2014年8月4日(月)

場所 名古屋大学全学教育棟 4階406号室(控え室:405号室)

● プログラム

受付開始:9:30~

- 研究発表:10:00~10:30 杉村 泰(名古屋大学)
日本語の「V1-慣れる」と中国語の“V1-慣”のV1の相違について
- 10:30~11:00 薛 惠善(名古屋大学大学院生)
韓国人日本語学習者における多義動詞の習得
— 典型性と転移可能性の観点から —
- 11:00~11:30 名嶋義直(東北大学)
新聞記事における誘導に関する一考察
— 話題や言語形式に着目して —
- 11:30~12:00 南 明世(名古屋大学大学院生)
日本語の複合動詞「V1-あげる」「V1-あがる」と中国語の“V1-上”“V1-起来”の対照研究

(司会 許 夏玲:東京学芸大学)

(昼食)

- 13:00~13:30 許 夏玲(東京学芸大学)
日本語学習におけるノートテイキングの実態
— 中上級学習者を中心に —
- 13:30~14:00 梶原彩子(名古屋大学大学院生)
程度副詞の名詞修飾
— カテゴリー帰属を表す働きに注目して —
- 14:00~14:30 モンコンチャイ・アッカラチャイ(東京外国語大学大学院生)
名詞句の前に位置する場合のタイ語限定表現 tɛɛ の意味的特徴に関する考察 — 日本語との対照を目指して —
- 14:30~15:00 疏 蒲剣(名古屋大学大学院生)
概略表現「ほとんど」における「全体」について

(司会 鈴木智美:東京外国語大学)

(休憩)

- 15:15~15:45 木下りか(武庫川女子大学)
学習者の作文コーパスにおける認識的モダリティ
— 母語話者との比較 —
- 15:45~16:15 鈴木智美(東京外国語大学)
対立・コンフリクトを避け内に向かう言葉
— 「かなと思う」の意味と使用 —
- 16:15~16:45 鈴木 梓(名古屋大学大学院生)
日本語における”identity”
— 形容詞「-イ」「-タイ」比較から —

(司会 名嶋義直:東北大学)